



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 人
カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

7月の意向

- 教皇様の意向のために祈りましょう
- 【一般】政治
 - 【宣教】ラテンアメリカの貧困
 - 【日本の教会】子どもたちの解放

結婚・家庭・離婚の司牧 罰から愛とゆるしへの転換

福岡教区全司教研修会が6月23日（火）から24日（水）かけて唐津で行われた。今回のテーマは「結婚・家庭・離婚の司牧」。先の世界代表司教会議（シノドス）で議題として扱われた「教会と現代世界における家庭の召命と使命」からの「リネアメンタ」（提題解説）をもとに、福岡教区内の現状を分かち合い、共有した。



講師として福岡司教区（東京教区）が招かれた。師は特に結婚に触れ、

「結婚問題については、社会的・文化的・経済的な影響が見られる。信徒である当事者は教会が教える結婚の意味や目的、恵みについて関心を持つていないことや、講座などで学んだとしても、周りの影響で薄らいでいたり、果ては破綻したりする。また、離婚については、自らへの罰と考え、救いのための教会の呼びかけにも応える様子もないままに過ごしている。先の

シノドスでは、地方教会の持つ様々な結婚問題に 대응する形で「リネアメンタ」を発表している。その中の第三部の『現実に向き合う―司牧的展望』では、司牧者が結婚に障害をもたらす当事者にキリストの愛の心で「隣人」として寄り添い、救いの福音を説き、共に歩んでいけるようにすべきであることが言われている。また、諸秘跡に与らせ、救いの恵みを受けられるように導くことが大切である。司牧者には「罰から愛とゆるしへの視点の転換」が求められているのではないかと述べた。



グループに分かれて分かち合う司祭たち

続いて、班ごとに分かれて「分かち合いの1」があった。昨今の信者の結婚へのあり方や家庭の信仰生活の状況、結婚後の生活などが、司牧体験を交えて分かち合われた。中には、「教育の基礎的役目をする家庭での『結婚について』の信仰伝達」がなされている」と嘆く司祭や、「教会側が信徒に対して幼い時から話すべきことを怠っているのが現状。どうにかしなければ」と困惑ぎみの司祭もいた。「責任は神の教えをいただいたいて

る教会と家庭の双方にある。お互いに問題を意識し、話を交わし合う場が必要」と語る司祭もいた。二日目の「分かち合い2」では、前日と同じ雰囲気の中、口角泡を飛ばす勢いで話が弾んだ。その後「全体会と質疑応答」があった。現状の諸問題と対応についての意義ある時間となった。昼食後に講師による「総評」と各担当の報告があり、宮原良治司教の総括で研修会を終了した。

時の話題

種まきのとき

聖小崎ホームは「社会福祉法人 カトリック社会事業協会」が運営する児童養護施設です。様々な家庭の事情で家族と共に生活することが出来ない子どもたちをお預かりし、生活面や学習指導を通して心身の健全育成はもとより、家庭復帰や自立に向けての支援を行っている児童福祉施設です。現在、2歳から18歳までの52人の子どもたちが生活しています。

「種をまき続けること」が私たちの一番大切な使命なのだ」と改めて気づかされた時でした。

聖小崎ホーム
園長 井手義孝

第5回カトリック校中堅教職員研修会 「カトリック教育のエッセンシャル」



分科会で意見を交換する参加者たち

日本管区長）の「カトリック学校が目指す教育」と題した講話では学校の営み全てに福音が息づくことへの招きが語られた。相良敦子氏（長崎純心大学）の講話「カトリック教育のエッセンシャル」では、「身体」を整え育む教育の大切さが示された。それぞれの講話のあとに小グループにて感想や体験を分かち合った。

「職員室が神の国になるように」とのメッセージが新鮮だった。「真理や善を求める心を育てる」カトリック校の使命を、まずは教職員の間で生きたい」「ゆつくりすること、沈黙の時間の大切さを実感した」など、参加者は様々な気づきを得た。現場において信念を実践できず葛藤する思いや、宗教関連行事の形骸化を憂慮する声も聞かれた。

（S）

平和を実現する人は幸いです

戦後70年司教団メッセージ（抜粋）

【1. 教会は人間のいのちと尊厳に関する問題に沈黙できない】：第二バチカン公会議後のカトリック教会は、フランシスコ現教皇にいたるまで、人間のいのちと尊厳の問題、特に抑圧された人や排除された人の問題に真剣に、積極的に向き合おうとしています。

【2. 戦争放棄への決意】：日本

本の朝鮮半島などに対する植民地支配、中国や他のアジアの国々に対する侵略行為はアジアの人々に大きな苦しみと犠牲をもたらしました。また、

いであり、人類全体にとつての放手することのできない理想なのです。

【3. 日本の教会の平和に対する使命】

日本カトリック司教団は、特別に平和のために働く使命を自覚しています。：私たちは政治の問題としてではなく、人間の問題として、平和を訴え続けます。：日本司教団は戦後50年と60年にあ

ったての平和メッセージの中で、戦前・戦中の教会の戦争責任を反省し、その上に立つて平和への決意を表明しています。

【4. 歴史認識と集団的自衛権行使容認などの問題】

：周

困や環境の問題、格差と排除の問題に取り組むことが不可

【5. 今の世界情勢の深刻な危機の中で】

：その中で格差は広がり続け、貧しい人々が排除されています。：平和の実現のためには、このような状況を変えること、世界の貧困や環境の問題、格差と排除の問題に取り組むことが不可

欠です：私たちにできることは、すべての問題を一気に解決しようと思わずに、忍耐をもつて平和と相互理解のための地道な努力を積み重ねることです。

【おわりに】：私たちは「平和を実現する人は幸いです」（マタイ5章9節）というイエスのことばにも励まされます。戦後70年、第二バチカン公会議閉幕50年にあたり、平和を求め、平和のために働く決意を新たにいたします。

メッセージの全文はカトリック中央協議会ホームページでご覧いただけます。また冊子が小教区に配布されています。」

（S）



わったのだ」（『心の歌』アントニー・デ・メロ著）という言葉が書かれています。その時々に触れる聖書やこのような祈りの言葉がM君の心に残っていたのでしよう。熱いものがこみあげてきたのを覚えています。

2歳から18歳という、人として一番大切な時期の子どもたちを預かりながら、「種をまき続けること」が私たちの一番大切な使命なのだ」と改めて気づかされた時でした。

（S）

福岡教区 本部会計 2014 年度会計報告

<収入の部>		教区本部会計とは、小教区から送金された金銭をもとに、教区としての活動をまかなう会計です。
科目	決算	
(宗教活動収入)	103,810,369	
【援助金収入】	24,326,406	一口 300 円で集めたお金は全額本部会計に送金
神学校後援会費	24,326,406	
【寄付金収入】	15,464,054	
一般寄付金収入	650,207	司教館の駐車場献金など
指定寄付金収入	14,708,847	福岡コレジオの運営費他教区からの分担金など
司祭寄付金収入	105,000	教区司祭黙想会の時の司祭からの献金
【特別献金】	1,177,920	
広報活動援助献金	752,420	教区報の広告、有料購読費など
臨時特別献金	425,500	幼稚園中堅教職員養成講座参加費など
【分担金収入】	62,841,989	
小教区分担金収入	42,696,866	教会維持費とミサ献金の合計の15%を本部へ
小教区司祭給与と分担金	18,071,250	聖ザベリオ会司祭給与と小教区で司祭給与を全額は払えない小教区が払える分として入金
租税分担金収入	1,562,923	
その他分担金収入	510,950	教区ハンドブック代として
(資産運用収入)	19,601,679	
受取利息収入	17,815,404	特定預金などの運用利息を含む
雑収入	1,099,865	
電柱敷地料	156,410	
資産利用料収入	530,000	血山などの土地利用お礼など
(繰入金収入)	1,191,520	
小教区会計繰入金収入	1,191,520	税金等処理のため
(経常収入合計)	124,603,568	
<指定献金>		
児童福祉献金	2,776,997	
四旬節愛の献金	3,152,670	
聖地エルサレム献金	838,346	
広報の日献金	1,233,401	日本のカトリック教会全体として定められた献金。指定された日の献金が教区本部会計に集められ、全額、ないしは司教総会で決定された割合額をそれぞれ指定された窓口に送金
聖ベトロ使徒座献金	1,341,648	
世界難民移動献金	1,361,672	
世界宣教の日献金	1,417,103	
宣教地司祭育成献金	1,439,816	
カテドラル献金	641,457	カテドラル（大名町教会）維持のための特別献金
臨時指定献金	965,704	災害支援のための特別献金
<支出の部>		教区本部会計は、本部（司教館）、司祭の家、美野島、大濠会館、門司港集会所、八代殉教地、東光町、本郷殉教地、熊本合志の家に関わる経費を負担
科目	決算	
(宗教活動支出)	156,126,068	
【宗教活動費】	16,968,630	
祭儀行事費	2,557,148	ヨゼフ会ブラザー床嶋の葬儀代を含む
司祭研修費	2,308,732	司祭総会、研修会、教区司祭集会、教区司祭黙想会
委員会活動費	2,112,595	教区の諸部門・諸委員会の活動費
宣教広報費	4,063,721	教区報印刷、送料など
布教活動費	240,074	幼稚園中堅教職員養成講座の経費
教育養成費	884,950	青少年の養成関連
図書資料費	411,041	司教館の新聞代
会議費	139,504	
諸会費	54,000	
寄付金支出	4,196,865	福岡コレジオへの運営金移行を含む
【その他の宗教活動費】	37,699,032	
司祭養成費	3,937,272	留学司祭の経費など
大神学院分担金	10,500,864	日本カトリック神学院の基本分担金と学生数の養成費
福岡コレジオ分担金	6,468,000	福岡コレジオの基本分担金と学生数の負担金
長崎神学院負担金	10,429,356	長崎カトリック神学院の学生数分の負担金
大神学生養成費	2,611,543	韓国人大神学生の日本語学校費など
コレジオ養成費	3,280,341	コレジオ生への奨学金など
小神学生育成費	161,728	
その他神学生養成費	309,928	召命学校などの経費
【指定献金支払超過支出】	183,740	カテドラルへの援助金の指定献金総額からのマイナス分
【教区内納付金支出】	12,318,030	
中央協議会納付金支出	2,960,000	カトリック中央協議会へ
教皇庁分担金	398,864	教皇庁大使館へ
小教区助成金支出	3,858,302	小さな小教区の工事などの援助
その他分担金支出	5,100,864	聖ザベリオ会司祭の給与と分担金を修道会本部へ
【管理運営費】	29,282,691	
消耗品・消耗備品費	1,449,329	
通信費	966,106	
旅費交通費	2,546,738	委員会の出張旅費なども含む
自動車諸費	1,794,465	
水道光熱費	2,556,126	
交際接待費	410,088	
修繕費	6,501,676	
賃借料	2,972,180	コピー機などのリース料
報酬委託手数料	6,377,035	会計事務所、顧問弁護士、社労士など
租税公課	2,245,112	
損害保険料	1,444,770	火災保険と、教区司祭の医療保険、教区賠償保険
雑 費	19,066	
【人件費】	59,673,945	
司祭給与	26,461,520	本部関係、コレジオ、小さな小教区司祭、美野島等 14 人
職員給与	29,584,500	本部、司祭の家、コレジオ、美野島等 16 人
雑 給	100,000	
法定福利費	3,056,115	社会保険や労働保険の事業主負担分
福利厚生費	471,810	
(資産運用支出)	31,637	
雑 損	31,637	
(経常支出合計)	156,157,705	
(当年度経常収支差額)	-31,554,137	この金額分赤字です

「信仰の伝達」を生きる① まず、司祭から

こんな言葉を聞いた。《明日やろうは、バカやろう！》自分に言われている…。

聞こえてくる。自分の中の独り言。「その日その時、後回しにせず、しなければなら

もに疲れる。大切なことを後回しにして、自分の都合を優先すると、時間が経つにつれ不安や心配、面倒臭さが押し寄せ、すべきことがばやけてしまふ。しなければなら

う時、いい加減面倒くさい気持ちで上辺だけを繕って行っている。早く終わってほしい…と思う時、知らず知らず周囲に不快なものを与えている。同時に何かしらこじつけた不満のようなものを、周囲に、特定の人に押し付けている…」

15年前に開催された《新しい福音宣教―西日本宣教司祭大会―》報告書に、参加司祭

奉献生活の年 幼きイエス会（ニコラ・バレ）

最初の来日修道女マザー・マチルド 生誕200周年を迎えて

マザー・マチルドは、1892年（明治5年）4人のシスターとともに来日した最初の修道女である。それは、明治政府がキリシタン禁制の高札を撤去した1873年（明治6年）の前年のことであつた。

「受肉したみことばとして、御父と人々にかかわったキリストの生き方を余すところなく身につけ、内的な姿勢を自分のものとしていた」マザー・マチルドは、来日間もない頃、大きな試練に見まわれた。それは一番若くて心優しいシスターの死である。マザー・マチルドはこつこつとやいている。「私は、日

本を学校を建てるより先に、十字架を墓に立てなければならなかつた。しかし、十字架こそ宣教の土台なのだ。」

幼きイエス会は、1662年ミム会修道士ニコラ・バレ神父によつてフランス・ルーアンに創立された女子修道会である。1852年にマレーシア・シンガポールに、そして、20年後、日本に修道女を派遣しアジアの宣教活動を開始した。

17世紀のフランスで、経済的に厳しい状況に置かれた家庭の子どものための教育が社会のたれからも顧みられていなかったことに心を痛めたバレ神父は、彼らが神の子の尊厳にふさわしく育

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

6月13日（土）・14日（日）の2日間、北九州市八幡西区折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

2014年度、教区本部の通常の経費についての決算（経常収支決算）を掲載しています。最後の欄を見れば分かる通り、3千万円強の赤字決算となっています。本部会計は、皆さんの献金と維持費で成り立っています。これまで以上にご負担をいただくのは心苦しいのですが、このままでは、教区としての活動が維持できないということになります。特に、神学校後援会費は教区の未来を担う司祭、神学生の養成費に充てられますが、これも実際には不足しています。一口300円となっていますが、何口でも構いません。未来への投資と思って、司祭召命のため、もう少し協力いただければ幸いです。なお、教会維持費は、収入の3%程度を目安にとお願いしております。どうぞ、神の国の建設のため、ご協力をよろしくお願いします。（教区会計 田中重治）

ミサ用ワイン



ヴァノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

マザー・マチルドは、1892年（明治5年）4人のシスターとともに来日した最初の修道女である。それは、明治政府がキリシタン禁制の高札を撤去した1873年（明治6年）の前年のことであつた。

「受肉したみことばとして、御父と人々にかかわったキリストの生き方を余すところなく身につけ、内的な姿勢を自分のものとしていた」マザー・マチルドは、来日間もない頃、大きな試練に見まわれた。それは一番若くて心優しいシスターの死である。マザー・マチルドはこつこつとやいている。「私は、日

本を学校を建てるより先に、十字架を墓に立てなければならなかつた。しかし、十字架こそ宣教の土台なのだ。」

幼きイエス会は、1662年ミム会修道士ニコラ・バレ神父によつてフランス・ルーアンに創立された女子修道会である。1852年にマレーシア・シンガポールに、そして、20年後、日本に修道女を派遣しアジアの宣教活動を開始した。

17世紀のフランスで、経済的に厳しい状況に置かれた家庭の子どものための教育が社会のたれからも顧みられていなかったことに心を痛めたバレ神父は、彼らが神の子の尊厳にふさわしく育

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

6月13日（土）・14日（日）の2日間、北九州市八幡西区折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任）

た。2日間て延べ600人が全国・海外から集つた。このフォーラムは2年毎に全国各地で開催され、各種活動団体と個人が日本に居住する外国籍の人たちとの共生やそのための支援、課題について考える。カトリックの団体・個人も実行委員として関わり、カトリック難民移住移動者委員会やカトリック労働者運動（ACCO）からの協力も寄せられた。

1日目は基調講演「アジア折尾の九州朝鮮中高級学校において、「第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム」が開催され

開会の挨拶をのべる林神父

第10回移住労働者と連帯する全国フォーラム

多民族・多文化共生社会を目指して

杉原 寛信神父（大名町教会主任

鐘の音とともに聖体行列



行進し、やがて、修道院の裏門に進む。この敷地内には、長きに亘り、ハンセ病の療養所待たせられた人々の墓があり、ここは聖体の祝歌を唱え、鐘の音が響く。聖歌が盛大に行われていた。

熊本 島崎教会

6月7日(日) 聖体の祝日に、熊本・島崎教会(主任司祭・マルケット神父)にて恒例の聖体行列がミサ後に行われた。梅雨入り宣言で心配された天気も思いの外、良くなり、修道女、信徒約150人がこれに参加した。

行列は、教会の北側に位置するマリアの宣教師フランシスコ修道院の聖堂までの約1キロの行程で行われた。この間、教会を出て、約300メートル程の熊本市道を、行き交う車両や歩行者を気にしながら行列は続いた。聖歌を唱和しながら、整然と秩序正しく

戦後70年 被爆者の証言から思うこと ①

「あゝ、広島よ」

私は、ホロコースト(ナチ政権下のユダヤ人大虐殺)の生存者から長年聞き取りを行ってきたが、そのホロコースト生存者に促されて原爆被爆者三代代から聞き取りもして、2011年に本を出した。聞き取った多数の証言の中で忘れられないのは広島被爆者Y氏の証言である。彼は当時日本の植民地であった韓国に生まれ、旧制中学に入学するために一人帰国、昭和19年に広島市の専門学校に入学した。翌年8月6日、爆心地から2キロの地点で被爆したが、重傷を負いながらも奇跡的に助かる。

終戦からまもなく原子野で瓦礫の後片付けをしていた時、休憩時間にたまたま友人が読んだ聖書の箇所、イエスがエルサレムの滅亡を予告した箇所(マタイ23章37、39節)を聞いて、悲しみで深く心が揺り動かされるといふ体験をした。そのとき、彼の耳には「あゝ、エルサレムよ」ではなく、「あゝ、広島よ」と聞こえたのだそうだ。これが一つの契機になって、キリスト教に入信する。その頃から子どもの頃見下していた韓国人への罪意識に苛まれるようになっていった。その後、教職に就いたが定

は、島崎では特別の日とされています。この事は私たち共同体の誇りです。この伝統行事を大切に続けていきたいと思ひます」と話していた。

筑後 今村教会



聖堂前での聖体賛美式

キリストの聖体の祝日の6月7日、今村教会(主任司祭・竹森勇神父)では聖体行列が盛大に行われた。折しも、当日は本郷教会に宮原良治司教が『突然訪問』されてミサが捧げられた後、今村教会のミサも宮原司教が主式した。その後、約300人の参加を得て、聖体行列が行われた。鐘が鳴り響く中、十字架を先頭に侍者・花撒きの少女・そして聖体、子どもと大人の列が

教区を超えての交わり

西日本司祭・助祭団親善ソフトボール大会

好天に恵まれた5月25日(月)、大阪教区、広島教区、高松教区、大分教区、長崎教区、そして福岡教区の司祭・助祭団およそ100人が長崎に集結し、恒例の西日本司祭・助祭団親善ソフトボール大会を催した。



宣誓する5教区の司祭たち(右から2人目は李神父)

庭のルルドに到着し、聖体への賛美と礼拝が行われ、聖体による司祭の祝福があった。「国の重要文化財」指定予定の今村天主堂拝観の客も多数この集いに参加した。今村教会では、この日を特に「召命のために祈る一日」としている。

せた。福岡カリチエス(福岡教区チーム名)は第一試合で強豪長崎チームと戦った。好投した中村彰選手(福岡)は3回までに5点を献上した。4回には竹内英次選手のホームランなどで同点とした福岡カリチエスであったが、最終的に逆転されて追いつかず、そのまま長崎チームに8対7で敗れた。くやしさが残る試合であった。

昼食を待たず行われた第3試合で福岡カリチエスは、力をつけてきている大分教区チームと向き合った。終盤まで大分チームにリードされた

聖母訪問会 創立100周年 「シスターたちは筋金入りの奉獻者」



感謝のミサを前に祈る聖母訪問会の修道女たち

セージを出した。私達キリスト者は、この歴史のターニングポイントの年に何をなすべきなのだろう。イエスは、「剣を取るものはみな剣で滅びる」(マタイ26章52節)とおっしゃった。この言葉葉をいつも胸に置きながら、難題が山積している。私達キリスト者はあくまでも平和的手段を捨ててこ

澤田 愛子 (西新教会信徒・生命倫理、ホロコースト研究者)

福岡カリチエスであったが、最終回でまたもや竹内選手のホームランが飛び出し、5対5の同点とした。その後、2塁打した下町選手(兼福岡カリチエス監督)を中村彰選手がセンター前のヒットで生還させ、見事、逆転勝利を収めた。他教区の試合もシリーズゲームで、この大会にかける意気込みが感じられた。優勝は長崎教区チームで福岡カリチエスは3位に終わった。

夜はお待ちかねの懇親会で盛り上がった。約90人が教区を超えて交わり、親睦を深めた。それぞれに日頃の宣教・司牧の話が飛び交い、カラオケも交じった賑やかな一時であった。

この一日を準備し、もてなしてくれた長崎教区の司祭団や婦人部、その他関係者に感謝したい。尚、来年は大分教区が担当することになる。福岡カリチエスはリベンジを図って練習に力を注ぐことを誓った。

岡市、崎津(熊本県天草市、新田原(福岡県行橋市)にて保育園と病院の慈善教化事業に従事してきた。現在は新田原修道院に25人の会員が在籍している。

Sr.大水ヤチヨ院長は信徒の祈りと支えに感謝し、「創立者の霊性に立ち戻り、高齢化の中でも、小さいものとしての喜びを生きたい」と語った。牧山美好神父(新田原教会主任)は「シスターたちは筋金入りの奉獻者です。神の愛を信頼し、ゆだねることを伝えてくれました。神との一致を求めるシスター方の生き方を、神が祝福し、豊かに育んでくれることを祈ります」と述べた。信徒代表は「貧しい祖先と共に歩んできた修道会。これからも共に生きましよう」と力強く語った。

6月14日(日)、聖母訪問会の創立100周年が新田原教会の主日ミサで祝われた。この日は内藤聡新司祭(横浜教区)の初ミサでもあり、共同体は深い喜びに包まれた。聖母訪問会は1915年にパリ外国宣教会員ブルトン神父(後福岡教区2代目司教)によって創立された邦人修道女会。「聖霊の促しにより、その(時)の必要に応じて：マリアの心で、存在と奉仕を通してキリストの愛をひろめる。」(会憲より)。福岡教区内では昭和6年より大濠(福



☆キリスト教とは何か② 救われるのはだれか 粕谷甲一 著



講話集第二巻。悲しみと苦しみ。どの底で人間の無知を知ったとき、そこに突然差しこくる恩寵の光。「救われるとは」「秘跡とは」について、人間が会うさまさまな事例を通して語っている。

☆恵みを受けとめるヒント 中井俊巳 著



この世にはたくさんの恵みがあふれています。でも時に私たちはそれに気づけなかったり、忘れてしまったりすることが。本書はその恵みを感謝と共に受け取るためのヒントを、日常生活の中に見つけていくエッセイ集です。

ドンボスコ社発行 税込み価格756円

☆原爆被爆者三代目の証言、長崎・広島を乗り越えて 澤田愛子 著



原爆の記憶、傷や心の代を越えて、どう影響していくのか。日本で初めての被爆者三代目インタビューと考察。被爆の記憶の継承問題にも触れる。原爆遺構の訪問記もあり、浦上の歴史と今も見つめる。

創元社 発行 税込み価格4104円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

信仰の伝達

福岡教区ハンドブック 2015 お詫びと訂正

P. 49 糸島教会 住所：糸島市志摩松隈770
P. 57 唐津教会 住所：唐津市山下町1201-1
P. 58 多久教会 住所：多久市北多久町大字小侍40
P. 72 礼拝会 住所：福岡市中央区今川1-2-25
☎ 092・753・7565 FAX 092・753・7566
P.100 カトリック北九州納骨堂 開放日
(誤)毎月曜日9時～18時→(正)月曜日を除く毎日9時～18時
謹んでお詫び申し上げます。

諸宗教対話研修会のご案内

日 時：7月19日(日) 14時～16時30分
場 所：カトリック手取教会
講 師：フランコ・S神父(真命山院長)
テーマ：仏教とキリスト教における死者への想い
問合わせ先：長濱 ☎ 090・1199・4057

ピース9の会 西日本の集い
平和をつなぐ ～私、そして私たちの選び～

日 時：7月25日(土) 13時～16時30分
場 所：カトリック大名町教会
講 師：松浦悟郎司教(名古屋教区)
松藤一作牧師(福岡西部バプテスト教会)
内 容：リレートーク、活動報告、分かち合い、歌と演奏等
主 催：ピース9の会西日本の集い実行委員会
問合わせ先：井手 ☎ 0942・47・1044

召命キャンプ

日 時：8月17日(月) 13時半～18日(火) 12時半
場 所：カトリック今村教会
対 象：小学3年生～中学3年生(男子)、定員40名(先着順)
テーマ：モーセの召命
参加費：1,000円
申し込み・問合わせ先：谷口尚志神父 ☎ 092・534・4600
申込〆切：8月10日(月)

九州青年キャンプ 2015

日 時：8月22日(土)～23日(日)
場 所：カトリック鶴崎教会(大分教区)
対 象：18歳以上(高校生不可)
テーマ：しらんけん～見つけちみようえ新しい世界～
参加費：3,000円
問合わせ先：田中重治神父 ☎ 092・521・6946
申込〆切：7月20日(月)

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

7月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 7月

7月 5日(日)～11日(土) 奉献生活者のための黙想会(空室20)
7月19日(日)～22日(水) 産業医科大学医学概論セミナー(空室0)
7月26日(日)～8月1日(土) サレジオ会黙想会(空室0)
*宗像市名残1056 ☎ 0940・32・3222 ☎ 0940・32・3385
E-mail: f-mokuso@fmokuso.com(アドレスを変更しました)
インターネットで検索 **福岡黙想の家** **検索**

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：イエス、マリア、ヨセフが祈られた詩編
・日 時：7月9日(木) 10時～14時半
・内 容：詩編126、130
指 導 者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
問合わせ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次 回：9月10日(木) 詩編23 (8月はお休み)
☎ 0968・85・3100 ☎ 0968・85・3186
玉名郡和水町楠浦1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日 時：7月4・18日、8月1・22日 10時～11時45分
場 所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡教区納骨堂管理委員会よりお知らせ

7月26日(日)和田墓地一般清掃9時～、清掃後のミサ11時～
＜雨天時予備日：8月2日(日)＞
【納骨堂解放日】 8月13日(木) 10時～15時
8月14日(金) 10時～15時
8月15日(土) 10時～ 追悼・納骨式ミサ14時
※納骨の手続き申し込みは2週間前までに各小教区納骨堂担当委員
まで済ませるようお願いします。

7月
1日(水) 福者ペトロ岐部司祭と187殉教者
福岡コレジオ会議 諸宗教対話部門会議
常任司教委員会
聖トマ使徒 初金ミサ・サーリスの集い
年間第14主日 平和を祈る集い(大名町教会)
†F.ハンター(2000年 手取教会)
(宗)幼稚園会議
†A.シアニ(2011年 古賀教会)
10日(金) ボン・アミ研修(唐津)
11日(土) 聖ベネディクト修道院長 幼子イエスの集い
12日(日) 年間第15主日 †T.リシャール(2011年 箱崎教会)
15日(水) 聖ボナベントゥラ司教教会博士
福岡教区創立記念日
16日(木) 年間第16主日 †P.クレイトン(2011年 本渡教会)
22日(水) 聖マリア(マгдаラ)
24日(金) †T.ダウド(2008年 手取教会)
25日(土) 聖ヤコブ使徒
26日(日) 年間第17主日 ヨアキム・アンナ会ミサ(高宮教会)
29日(水) 聖マルタ †T.グローガン(2004年 美野島教会)
31日(金) 聖イグナチオ(ロヨラ)司祭
博多にきんしゃい(浄水通教会)
8月
1日(土) 聖アルフォンソ司教教会博士
2日(日) 年間第18主日 馬渡島教会堅信式
3日(月) 教区カトリック学校中堅教職員研修会
(黙想の家 ～4日)
4日(火) 聖ヨハネ・マリア・ピアンネ司祭
5日(水) 広島平和祈願集い †ペトロ平田三郎司教(2007年)
6日(木) 主の変容 広島平和祈願ミサ

■ゴチックは司教日程

福岡

◆ 日曜日18時半の主日のミサ
(日程) 7月5日・12日(場所)
大名町教会小聖堂
■福岡ホスピスの会 第3回
タンゴ・ジャズ癒しのゆうべ
(日時) 7月10日(金) 18時
19時(開場17時半)(場所) 大
名町教会1階講堂(費用) 1
500円(1000人限定)(問
合せ先) ☎ 090・1162・
6395 柴田
■震災のための祈りのリレー
(日時) 7月11日(土) ミサ7
時から 夕の祈り19時から
(場所) 礼拝会・福岡修道院(問
合せ先) ☎ 090・23305・
5191 Br.阿部(パウロ会)
■祈りの集い・勉強会
(日時) 7月11日(土) 14時か
ら(場所) 聖パウロ修道会福
岡修道院(指導) 澤田豊成神
父(聖パウロ修道会)(問合せ
先) ☎ 092・5441・37
30 松山
■福岡ホスピスの会 勉強会
(日時) 7月12日(日) 14時
16時(場所) 大名町教会4
階会議室(講師) 高橋克也氏
(テーマ)「終活」について(参
加費) 会員500円 一般1
000円(問合せ先) ☎ 09
0・1162・6395 柴田
■夏の黙想会
(日時) 7月12日(日) 9時半
16時(場所) 福岡女子カメル
ル会修道院・テレサの家(内
容) ミサ・講話(指導) 中川
博道神父(カプチン修道会)
(問合せ先) ☎ 092・843・
5831 岩崎
■カルメル在世会集会
(日時) 7月20日(月) 10時半
から(場所) 福岡女子カメル
ル会修道院・テレサの家(内
容) ミサ・講話(指導) 中川
博道神父(カプチン修道会)
(問合せ先) ☎ 095・828・2
350 鶴池
■福岡召命を共に祈る会
(日時) 7月21日(火) 13時半
(場所) 大名町教会小聖堂(内
容) ロザリオの祈りと分かち
合い(問合せ先) ☎ 092・
921・4532 山口紀子
■ラスキン・黙想と祈りの集
い(日時) 7月24日(金) 19時
45分から(場所) 大名町教会
小聖堂(問合せ先) ☎ 090・
2305・5191 Br.阿部(パ
ウロ会)
■美野島司牧センター
あなたの勇気が路上のいのちを
支えます！◆ホームレスの方に
手作りの昼ごはん 毎週火曜日
10時30分◆ホームレス支援回
り第1金曜日20時◆路上からア
パートに入居した方を訪問 第
3土曜日13時(問合せ先) ☎ 0

皆さまの「声」をお聞かせください！
自由席 復活！

皆さまの声の欄「自由席」が8月号より
復活します。遠慮なく投稿してください。
子ども祈りや詩などの投稿もお待ちしております。
◆原稿は400字以内
◆投稿先：福岡カトリック司教館 教区報係り宛
FAX 092・523・2152 Mail: cdf-kouhou@nifty.com
※「自由席」と明記し、住所、氏名、年齢、電話番号、
所属教会も明記してください。
※用語その他で編集・添削することもあります。
※原稿はお返しいたしませんのでご了承ください。

92・431・1419 M・コ
ス神父
■神である御父をたたえる集い
(日時) 8月2日(日) 14時
15時半(場所) 笹丘教会(内容)
主日のミサ(遠山満神父)と
祈り※ロザリオをこ持参くた
さい(問合せ先) ☎ 092・
821・6349 森

北九州

北九州召命を共に祈る会

(日時) 7月9日(木) 14時か
ら(場所) 小倉教会(内容) お
祈りと茶話会(問合せ先) ☎
0949・24・9905 藤井
■小倉祈りの集い
(日時) 7月24日(金) 13時半
から(場所) 小倉教会信徒
会館2階(指導) ガブリエル
神父(御受難会(内容)「み
ことばを味わう」賛美と感謝
の祈り(問合せ先) ☎ 090・
3985・5209 松田

熊 本

■日本カトリック看護協会福岡
支部例会(日時) 7月12日(日)
14時(場所) 熊本みこころ病院
(内容) 講話と分かち合い(問
合せ先) ☎ 096・324・6
211 Sr.竹内
■熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 7月16日(木) 10時半
場所 手取教会(問合せ先) 健軍
教会 ☎ 096・368・282
5 浦川務神父
水巻聖母幼稚園より
ホームページがリニューアル
されました。ご覧下さい。
http://mizumakiseibo.ed.jp/
セントポール FUKUOKAより

佐 賀

■典礼聖歌研修会
(日時) 7月5日(日) 13時
15時半(場所) 鳥栖教会(問合
せ先) 鳥栖教会 ☎ 0942・
82・2282 山元眞神父
■佐賀祈りの集い
(日時) 7月8日(水) 10時
12時 毎月第2水曜日(場所)
佐賀カトリック会館(内容)
ミサと祈り(問合せ先) ☎ 0

編集後記

床に就くとき、カエルの大
合唱。神さまからの善き一日
を褒めたたえよう。明日に期
待して、お休みなさい！

人と人の絆を大切に、ご葬儀のご相談は

メモリーホール

業院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店 福岡メモリー(代表)

0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院内科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院*入院基本料(一般病棟7:1)
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL 0942-35-3322(代表)
FAX 0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp痛みの相談室
いくま整骨院平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊吉古キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いづれでもどうぞ！http://www.paulus.jp
パウルスショップ

メディアによる福音宣教のために...

サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土)／日・祝日休業／地下鉄赤坂駅より徒歩3分・駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎ 092-721-2032 fax 739-3930